

北海道浮魚ニュース

平成 24 (2012) 年度 8 号

2012 年 7 月 20 日

道総研水産研究本部 函館水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.hro.or.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 20 日、第 2 回日本海スルメイカ長期漁況予報が発表されたので、概要をお知らせします。今回は日本海全域を対象とした漁期後半 (8 ~ 12 月) の予報です。

なお、この予報は水産研究所と日本海側道府県水産研究機関が参画し、日本海区水産研究所がとりまとめを行いました。予報文の全文は以下のホームページでご覧になれます。

水産庁 (<http://www.jfa.maff.go.jp/j/press/>)

日本海区水産研究所 (<http://jsnfri.fra.affrc.go.jp/>)

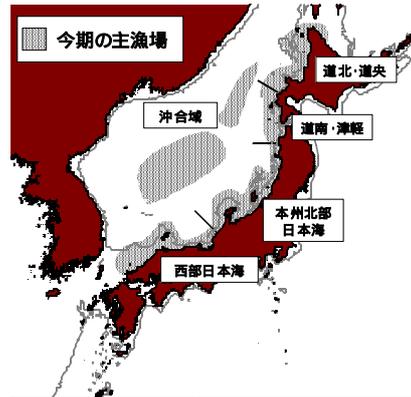
今後の見通し (2012 年 8 ~ 12 月)

対象魚種 : スルメイカ

対象海域 : 日本海 (道北・道央、道南・津軽、本州北部
日本海、西部日本海、沖合域)

対象漁業 : 主にいか釣り漁業・小型いか釣り漁業

対象魚群 : 主に秋季発生系群、後半は冬季発生系群も含む



- (1) 来遊量 : 前年および近年平均を上回る。
- (2) 漁期・漁場 : 8 月の北海道周辺海域が中心。
- (3) 魚体の大きさ : 北海道周辺では前年および近年平均より大きい。

近年とは過去 5 年 (2007 ~ 2011 年) のことです。

・来遊量は、6 月に実施した日本海漁場一斉調査 (函館水試調査分は浮魚ニュース第 7 号参照) で、資源量指数が前年および近年平均を上回ったことから、「前年および近年平均を上回る」と予想されました。

・漁期・漁場は、6 月の漁場一斉調査で道央日本海に分布密度の高い海域が見られ、近年この時期の漁場も夏期の北海道周辺海域を中心に形成されていることから、「8 月の北海道周辺海域が中心となる」と予想されました。

・魚体の大きさは、6 月の漁場一斉調査で採集されたスルメイカの外套長組成が、分布密度の高かった道央海域で前年より大型であったことから、「北海道周辺では前年および近年平均より大きい」と予想されました。

今後の北海道への日本海スルメイカ来遊状況に関しては、8 月に函館水試調査船・金星丸による調査を実施する予定です。結果は、その他の情報とともに随時浮魚ニュースでお知らせいたします。

(文責 : 函館水産試験場調査研究部、TEL:0138-57-6056、FAX:0138-57-5991)